



# 栃木県の経済情勢報告

令和8年4月22日

財務省関東財務局  
宇都宮財務事務所

お問い合わせ先  
宇都宮財務事務所 財務課  
電話番号 028-346-6301 (直通)

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	→

（注）8年4月判断は、前回8年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	→
雇用情勢	持ち直しのテンポが緩やかになっている	持ち直しのテンポが緩やかになっている	→
設備投資	7年度は増加見込みとなっている	7年度は増加見込みとなっている	→
企業収益	7年度は減益見込みとなっている	7年度は減益見込みとなっている	→
企業の景況感	「上昇」超となっている	「下降」超となっている	↘
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	↗
公共事業	前年を下回っている	前年を下回っている	→

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が持ち直しを支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

ホームセンター販売額は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額、家電大型専門店販売額は前年を上回っている。乗用車新車登録届出台数は前年を下回っている。また、宿泊や飲食サービスについては緩やかに回復しつつある。このように、個人消費は緩やかに回復しつつある。

## (主なヒアリング結果)

- 20～40 代向けブランドの婦人衣料の売上げが好調。この世代は多少高額であっても興味のあるものに対する出費を惜しまない傾向がみられる。(百貨店・スーパー)
- 消費者の節約志向が高まっており、容量に対して価格の安い食品の売行きが良い。(百貨店・スーパー)
- 通常サイズより大きい高付加価値商品や満足度の高い低価格帯商品が好調。(コンビニエンスストア)
- 化粧品、シャンプー及び冷凍食品が好調であるほか、低価格 PB 商品の売行きが良い。(ドラッグストア)
- 冬季オリンピックの開催により、テレビの買換えを予定していた消費者が前倒しで購入するケースが生じた。(家電量販店)
- 販売商品が生活必需品ではないため、物価高等による消費者マインドの冷え込みを受けて、売上げが落ち込んでいる。(ホームセンター)
- メーカーが車体価格を引き上げているため、競合他社と比べて価格面で不利となっており、販売台数に伸び悩みがみられる。(自動車販売)
- ファミリー層がハレの日に利用するケースが多く、価格に見合った商品を提供できているため、消費者が値上げを受け入れている様子がうかがえる。(飲食サービス)
- 1～3 月は閑散期に該当するが、修学旅行による団体の予約が複数あり、宿泊客数は前年よりも増加している。(宿泊)

## ■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、輸送機械、金属製品、電気機械等が上昇している一方、生産用機械等が低下しているなど、横ばいの状況にある。

- 乗用車及びトラックに係る製品のほか、データセンターや建設機械等の産業用エンジンに係る製品も受注できており、生産金額が増加している。(金属製品)
- 物価高等の影響で消費者の買換え需要が低下しているが、2月に新機種を発売したことから生産量は増加している。(電気機械)
- 業務効率化の点から、県内工場で生産していた一部機種を海外の生産拠点に移管したため、生産量が減少している。(生産用機械)

## ■ 雇用情勢 「持ち直しのテンポが緩やかになっている」

新規求人数は増加しているものの、有効求人倍率は低下しており、雇用情勢は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。

- 従業員の出身校における業務説明やインターンシップの実施により、工場内の業務を学生に知ってもらうことで、採用者数の増加に努めている。(製造)
- 給与引上げ等の待遇改善に加え、知名度向上のために説明会や採用面接の回数を増やすことで、新卒者の確保に努めている。(娯楽)

## ■ 設備投資 「7年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1～3月期

- 7年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比 24.5%の増加見込み、非製造業では同 2.6%の増加見込みとなっており、全産業では同 19.7%の増加見込みとなっている。

## ■ 企業収益 「7年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」8年1～3月期

- 7年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比 8.4%の減益見込み、非製造業では同 1.2%の減益見込みとなっており、全規模では同 6.6%の減益見込みとなっている。

## ■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1～3月期

- 企業の景況判断 BSI を現状判断についてみると、全規模・全産業で「下降」超となっている。なお、先行きについて、全規模・全産業でみると、8年4～6月期は「均衡」となる見通しとなっている。

## ■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、分譲住宅は前年を下回っているが、持家、貸家は前年を上回っており、全体としても前年を上回っている。

## ■ 公共事業 「前年を下回っている」

- 前払金保証請負金額をみると、国、県、市町のいずれも前年を下回っており、全体としても前年を下回っている。

## ■ 企業倒産 「倒産件数は前年を下回ったものの負債総額は前年を上回っている」



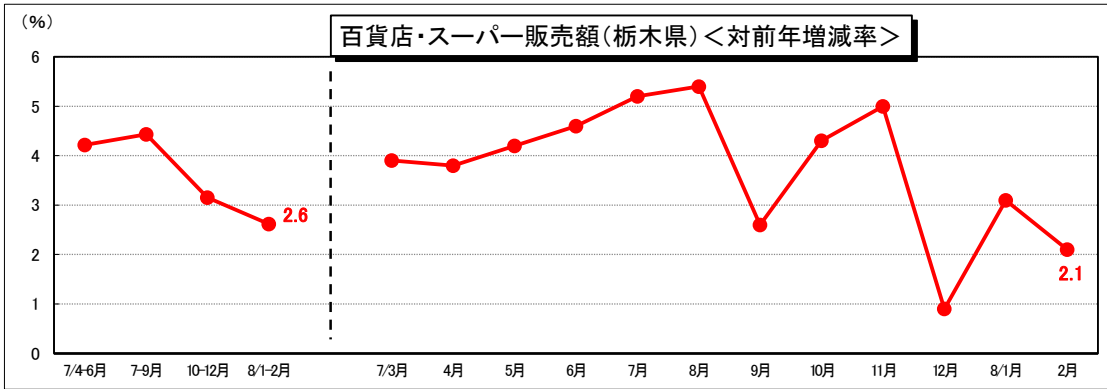
# 栃木県の経済情勢報告

## 資料編

# 1. 個人消費

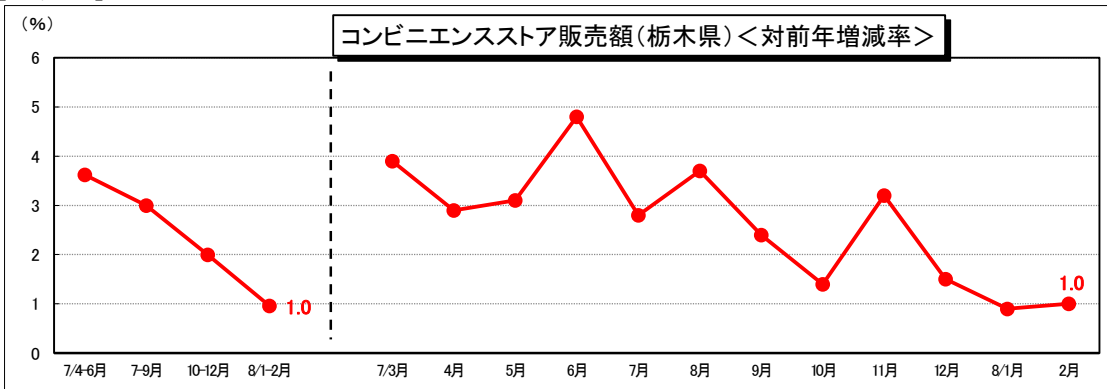
緩やかに回復しつつある

[グラフ1]



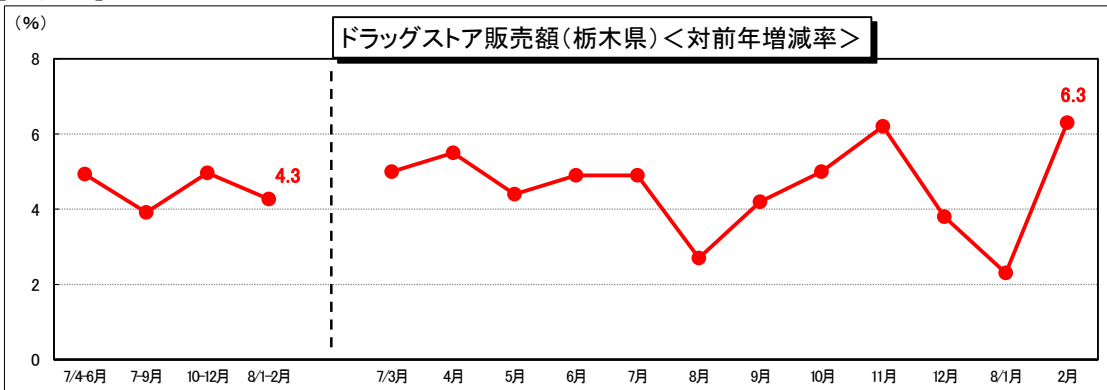
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ2]



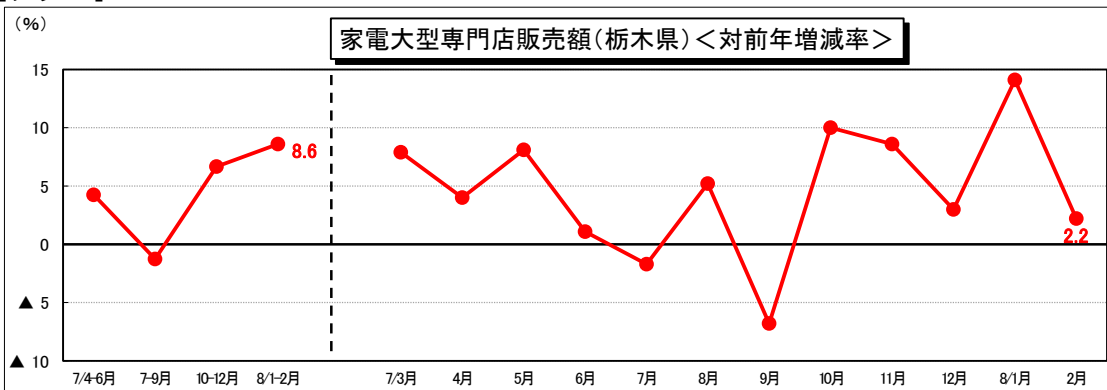
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ3]



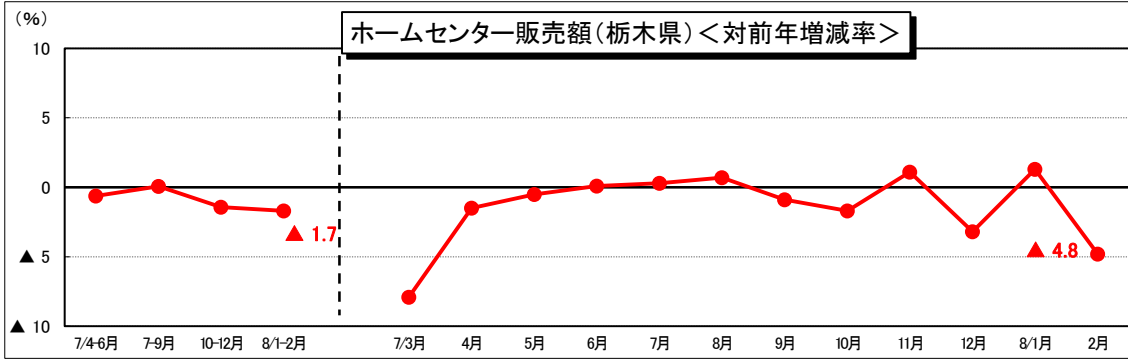
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ4]

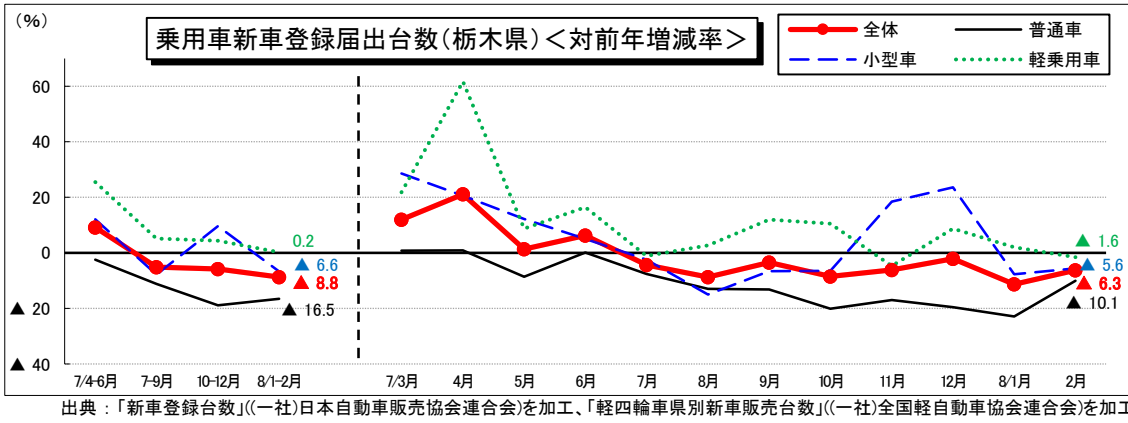


出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ5]



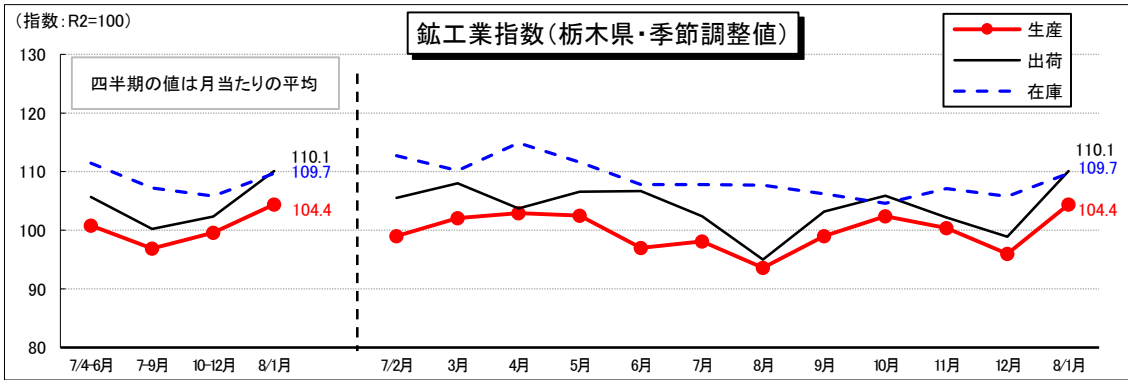
[グラフ6]



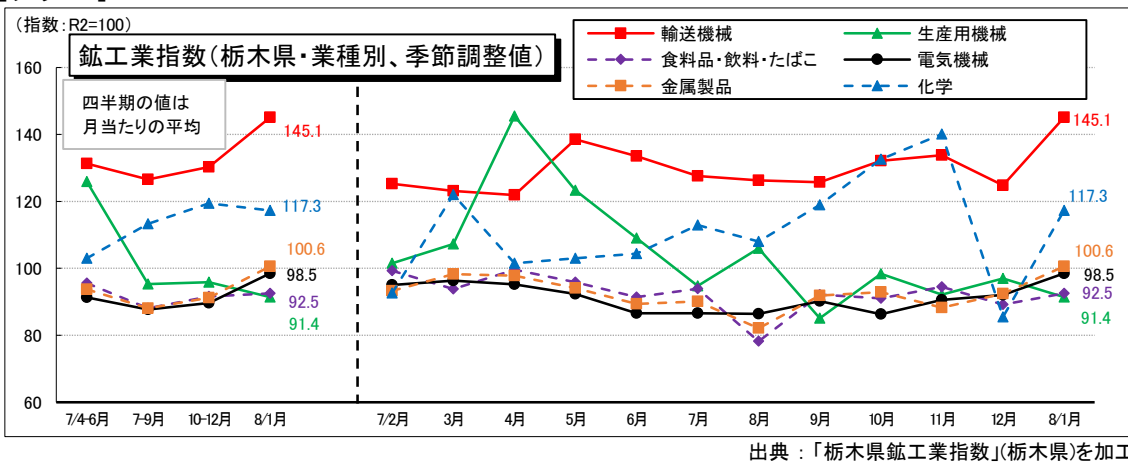
2. 生産活動

横ばいの状況にある

[グラフ7]



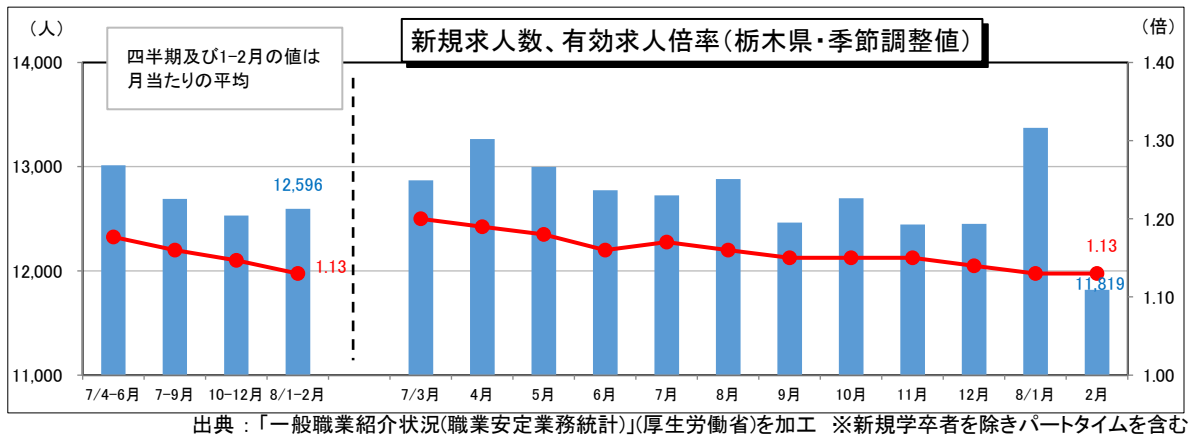
[グラフ8]



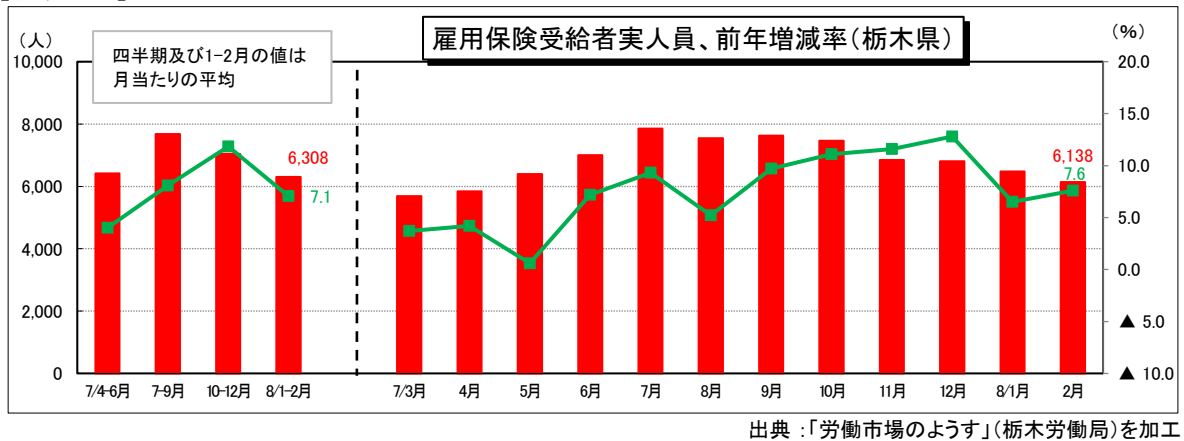
### 3. 雇用情勢

持ち直しのテンポが緩やかになっている

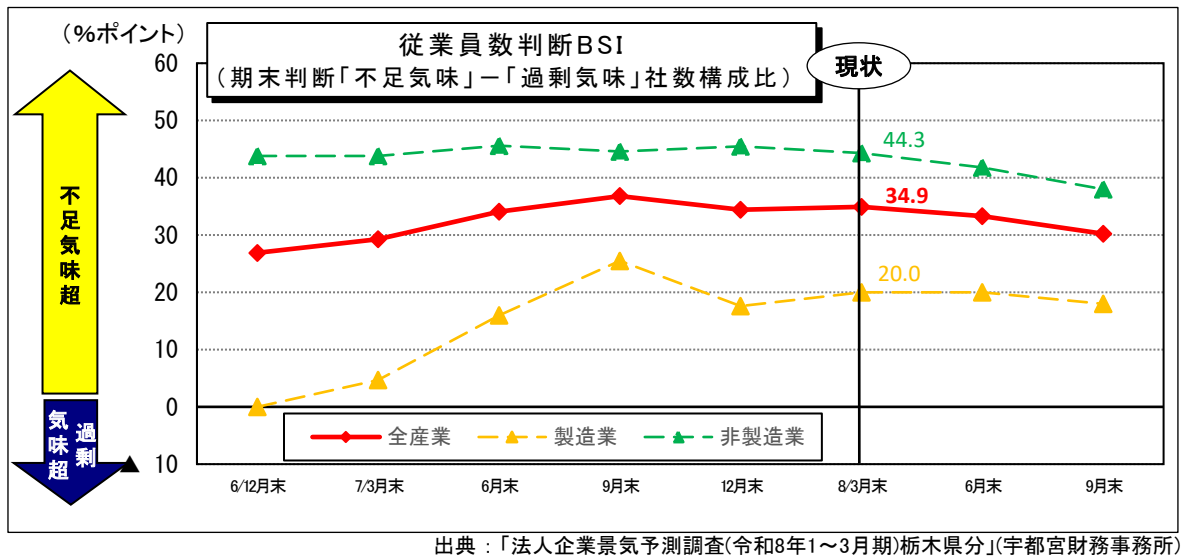
[グラフ9]



[グラフ10]



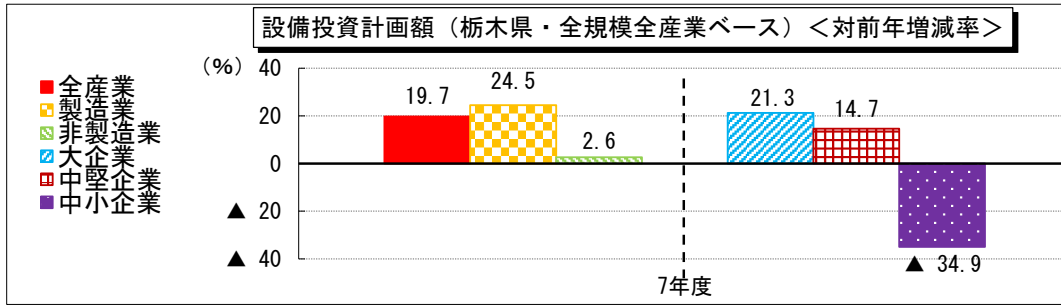
[グラフ11]



#### 4. 設備投資

7年度は増加見込みとなっている

[グラフ12]

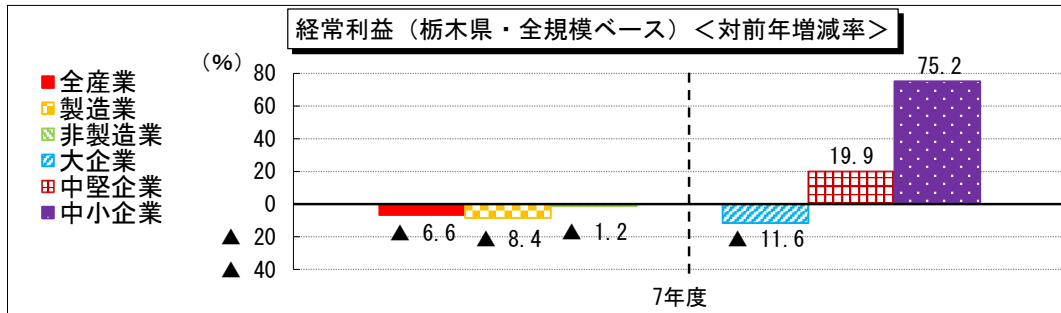


出典：「法人企業景気予測調査(令和8年1～3月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

#### 5. 企業収益

7年度は減益見込みとなっている

[グラフ13]

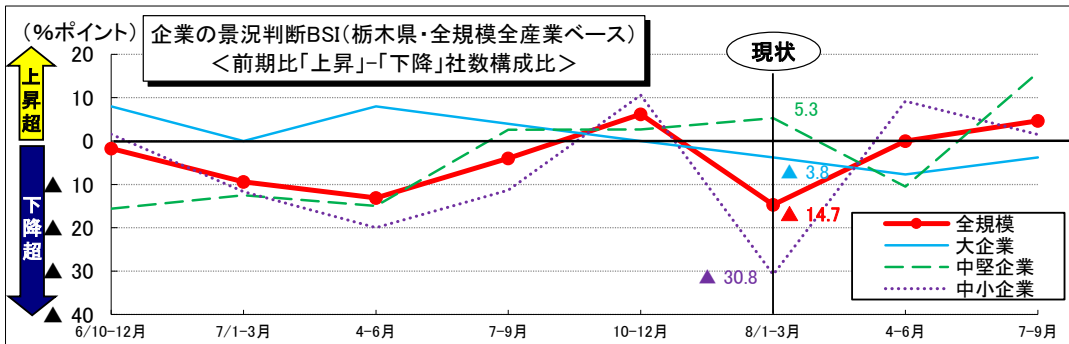


出典：「法人企業景気予測調査(令和8年1～3月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

#### 6. 企業の景況感

「下降」超となっている

[グラフ14]

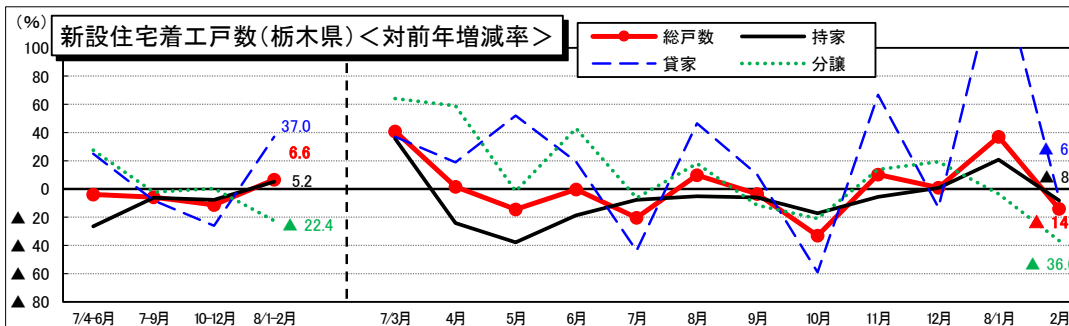


出典：「法人企業景気予測調査(令和8年1～3月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

#### 7. 住宅建設

前年を上回っている

[グラフ15]

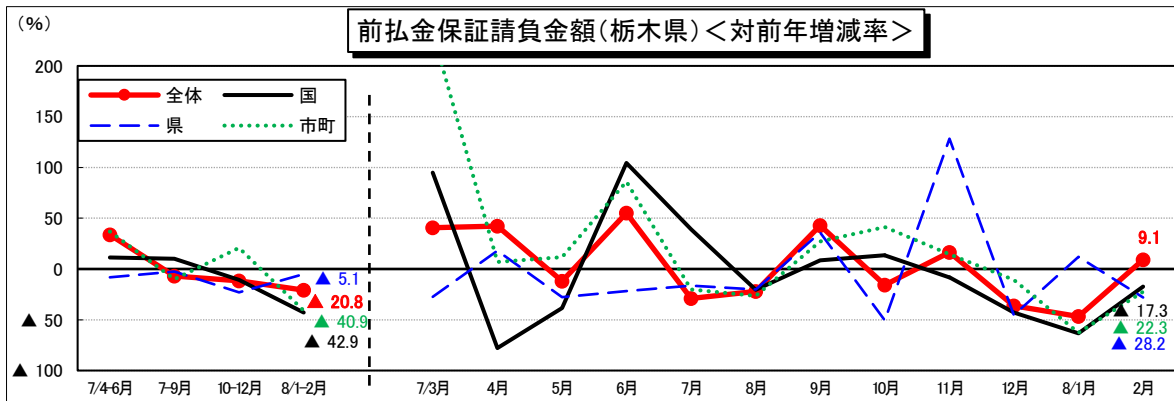


出典：「住宅着工統計」(国土交通省)を加工  
(注)令和8年1月の「貸家」の数値は、前年比+160.0%となっている。

## 8. 公共事業

前年を下回っている

[グラフ16]

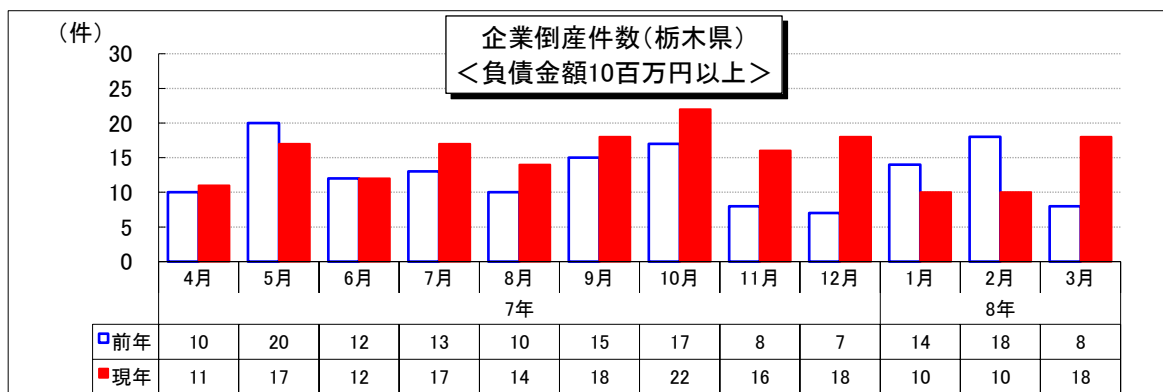


出典：「公共工事前払金保証統計」(北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)を加工  
(注)令和7年3月の「市町」の数値は前年比+232.9%となっている。

## 9. 企業倒産

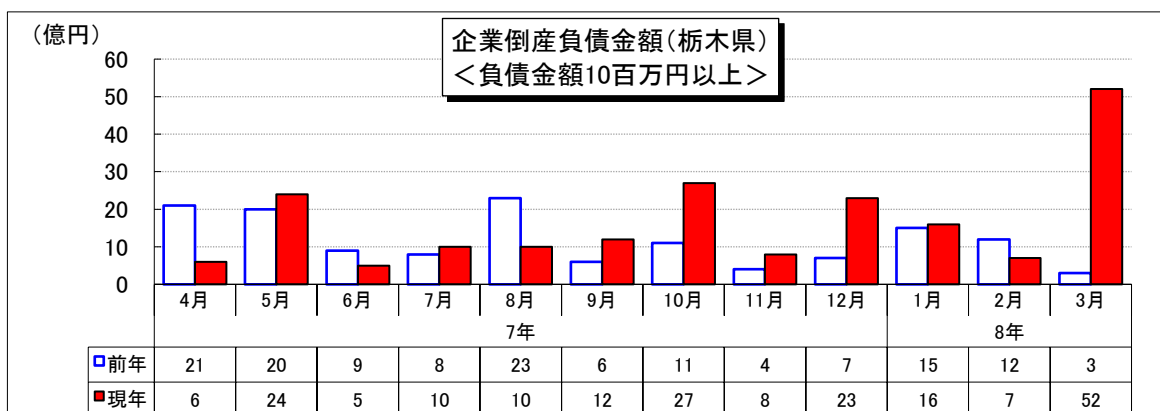
倒産件数は前年を下回ったものの負債総額は前年を上回っている

[グラフ17]



出典：「栃木県内企業倒産整理状況」(㈱東京商工リサーチ 宇都宮支店)を加工

[グラフ18]



出典：「栃木県内企業倒産整理状況」(㈱東京商工リサーチ 宇都宮支店)を加工